

健康経営における重要指標

当社では、健康経営で重要視している指標に注目し、様々な施策に取り組んでいます。昨年度の各種データを踏まえ、重要視している指標に食事習慣に関する指標を加え、生活習慣への意識変容・行動変容に総合的に取り組んでいくものです。生活習慣にかかる指標の改善が、社員のからだに関するリスク指標により影響をあたえ、社員の活力向上、健康経営の実現につながると考えています。

健康経営で重要視している指標

項目	2022年度実績	2023年度実績	2025年度計画	備考
健康診断受診率	100.0%	100.0%	100.0%	算出方法：年度内受診者/対象者
特定保健指導実施率（主要）	92.0%	95.2%	90.0%	算出方法：特定保健指導実施者数/対象者
健康イベント実施回数(主要)	9回	12回	15回	ウォーキングキャンペーン、禁煙セミナー等
喫煙率（主要）	14.8%	13.6%	12.0%	
適切な運動習慣を有する者の割合	28.7%	30.0%	30.0%	一定の運動習慣を有すると回答した者の割合
適切な睡眠を有する者の割合	75.5%	72.5%	80.0%	睡眠で休養が取れていると回答した者の割合
適切な飲酒習慣を有する者の割合	96.3%	95.7%	96.5%	適切な飲酒頻度・飲酒量である者の割合
適切な食事習慣を有する者の割合（今回追加）	53.3%	59.4%	60.0%	適切な食事習慣である者の割合

当社では、上記の指標のなかでも特に「適切な運動習慣を有する者の割合」に着目しています。運動習慣を有する者の割合は改善しているものの、健康スコアリングレポートにおける運動習慣リスクのスコアは平均値100とする相対値で、長年100未満となっています。まずは運動習慣リスクスコアを100以上とすることを目指し、ウォーキングキャンペーンの継続実施をしています。キャンペーン自体の参加率は上昇傾向で、運動意識への向上には寄与していますが、さらに運動習慣の意識変容・行動変容につながる施策に取り組んでまいります。

健康経営における最終的な目標指標

項目	2021年度実績	2022年度実績	2023年度実績	備考
プレゼンティーズム	－	4.1点	4.1点	全国平均3.9点（5点満点）
アブセンティーズム	1.24日	1.52日	1.30日	一人当欠勤・休職日数 目標1.2日
ワーク・エンゲージメント	－	2.6点	2.7点	全国平均2.5点（5点満点） 目標3.0点

プレゼンティーズム、ワークエンゲージメントは全国平均よりも高くなっており、社員の心身の健康のアプローチの結果がでていると考えています。アブセンティーズムは、2023年に設立したウェルネスサポートチームの社員との接点確保により改善が図られています。特に休職期間が短縮していることが確認できており、いずれの最終的な目標指標も各取組との相関性を確認しながら、実効性が高い施策となるよう検証しています。